

## 日本発ドイツ便り : Kölsch のお作法



第二の故郷 Köln に久々の里帰り。

Frankfurt から特急 IEC に乗って、Köln 中央駅に近づきます。ライン川を渡るこの鉄道橋を渡ると、出迎えてくれているように Dom (ドーム : 大聖堂) が見えてきます。何度見ても、嬉しくて踊りだしたいくらい大好きな風景。中央駅はこの Dom のすぐ横にあります。

今回は Köln のとある名物にスポットをあててみたいと思います。

街の名前は Köln (ケルン)。形容詞になると「kölsch」(ケルシュ)。最初の K を大文字にすると Kölsch 「ケルンの人」とか「ケルン語」の意味。そしてこの街の場合もう一つ特別な意味合いがあります。Kölsch というのがこの街の名物の一つ。Bier (ビール) です。

Kölsch は約 1000 年の醸造の歴史を誇る、Köln で作られたビールのスタイルを表す全体名詞です。Kölsch の醸造所は必ず Köln になくはなりません。簡単にどんなビールか紹介すると…

- ・ 上面発酵用の酵母を下面発酵に近い低温で醸造するのが特徴
- ・ ホップの味が強めで、苦みや刺激は控えめ
- ・ Stange (シュタンゲ : 棒) と呼ばれる 200 ml の円柱形の細長いグラスで提供される。
- ・ アルコール含有量平均 4.8%
- ・ Reissdolf, Gaffel, Früh という 3 大メーカーでシェアの 60% 程度を占め、あとは中小のメーカーとレストランで使用する分しか作らないような家族経営の醸造所が合わせて 20 件程度

Köln に到着してまずは一杯目の Kölsch を。Köln ではビール居酒屋とか、ビールレストランのことを Kneipe (クナイペ) とか、Lokal (ロカール) と呼びます。そんなお店の一つに入って、おいしく食べて店を出るまではこんな感じの流れです。

1. お店に入る
2. 適当に空いている席を見つけて座る。見つからなければお店の人に付けてもらう。
3. その席担当のウェイターさんが Kölsch Kranz (ケルシュ・クランツ) と呼ばれる入れ入れ物に入れて運んできて、Bierdeckel (ビアーデッケル : コースター) を人数分置いて、その上に、Kölsch を置いて Bierdeckel の周りにビールのグラスの数分線を引き去っていく。(Kölsch 以外を飲みたい場合は、Kölsch を置



かれる前に注文！)

4. 食事もしたい場合は Kölsch を飲みながら Speisekarte (シュパイゼカルテ：メニュー) を見て、決まればウェイターさんと呼んで注文。
5. グラスが空になったら、何も言わなくても、ウェイターさんが絶妙のタイミングで新しいグラスを持ってきて差し替え。Bierdeckel の線の数が増える。
6. 「もうお代わりいらない！」場合は、空になったグラスをグラスの下に引いてある Bierdeckel で蓋をして、「もう飲みません」の意思表示をする。
7. お会計

ものすごくかいつまんで言うといくんな感じです。面白いでしょう？  
ここ Köln に限らず、ドイツではどこでもビール一人一杯だけの注文でも OK なので、無理して食べる必要も、気にする必要もありません。  
2017年5月現在どこでも Kölsch 一杯 1.8 ユーロでした。(約 200 円)！  
右の写真が上の流れ 3. で出てきた Kölsch Kranz (ケルシュ・クランツ) と呼ばれる Kölsch を運ぶ入れ物です。



Bierdeckel の線もちょっと分かりにくいかもしれないので、写真で補足。

←手前の Bierdeckel に線が引いてあるのが見えるでしょうか？||||と 4 杯分の線を引きいたら、5 杯目は 1 から 4 杯分の縦線の上に横線が入って、これで「5」の意味です。なので、これは 6 杯飲んだってことですね。



流れの 6. Bierdeckel でグラスに蓋をして、「もう飲みません」の意思表示。→

ケルンの Lokal や Kneipe では、お客さんの帰ったテーブルはみんなこんな風景になります。蓋をしないと、「わんこそば」状態でどんどんお代わりを持ってこられるので、このお作法は特に重要です。☺  
Kölsch はアルコール度数低め、味はしっかりしつつも軽めで、ドイツのビールには珍しく、少し冷やした状態で提供されます。地元の人曰く、「時間が経つと気の抜けたコーラみたいでおいしくなくなる」そうで、いつも新鮮な状態で飲めるよう、この細い分量の少ないグラスで提供されるのだそうですよ。確かに正解！

昔、この街のどこかで見かけて、「なるほどな」と思った言葉。

Kölsch sprechen, Kölsch trinken und Köln erleben.

「ケルン語を話して、ケルシュを飲んで、ケルンを体験する」まさにその通り！

大聖堂 Dom 近くの旧市街には、かなりの数の Kneipe があります。一言で Kölsch と言っても醸造所の数だけ、味も香りも色も印象も違います。Kneipe をハシゴして、いろんなビール飲み比べも楽しいですよ！